平成30年度精度管理『食品細菌』成績記入用紙（1）

（記入方法）

各項目は2回サンプリングして測定し、それぞれの結果を記入して下さい。下記の結果記入欄に、細菌数とセレウス菌は各試料1ｇ当たりの菌数を記入して下さい。細菌数は少数第3位を四捨五入して少数第2位まで記入して下さい。セレウス菌を検出した場合は菌数を記入して下さい。検出しなかった場合は各施設のSOPに従って記入して下さい。大腸菌群を検出した場合は（＋）を、検出しない場合は（－）を記入して下さい。自由参加項目を受けない場合は記入してください。

（結果記入例）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　自由参加項目　不参加

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 試料記号 | 細菌数  （／ｇ） | 大腸菌群  （／ｇ） | セレウス菌  （／ｇ） |
| Ａ－１回目 | 2.80×103 | （＋）  1.4×103 | （－）  ＜100 |
| Ａ－２回目 | 2.76×103 |  |  |
| Ｂ－１回目 | 1.39×107 | （＋）  1.3×103 | （＋）  3.5×103 |
| Ｂ－２回目 | 1.49×107 |  |  |

（結果記入欄）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 試料記号 | 細菌数  （／ｇ） | 大腸菌群  （／ｇ） | セレウス菌  （／ｇ） |
| Ａ－１回目 |  |  |  |
| Ａ－２回目 |  |  |  |
| Ｂ－１回目 |  |  |  |
| Ｂ－２回目 |  |  |  |

施設No.

平成30年度精度管理『食品細菌』成績記入用紙（2）

「細菌数の測定方法」について記入して下さい。

|  |
| --- |
| 検査開始年月日：平成30　年　　月　　日　検査終了年月日：　平成30　年　　月　　日  [1]　試料採取量　　　　① 10g　　　② 25g　　③ その他　　　　ｇ    [2]　試料採取 　 ①ストマッキング袋　②滅菌紙　③その他  [3]　試料秤量方法　 　 ①電子天秤　②自動希釈装置　③上皿天秤（左右釣合）④その他  [4] 試料溶液の調製　 ① ストマッカー　② ブレンダー　③ その他  [5] 使用溶液・量　　　① ペプトン加生理食塩水　②生理食塩水 ③リン酸緩衝食塩水  ④その他　 　　　　使用量　 　　　 ml  メーカー  [6]　ストマッカー またはブレンダーの処理時間  ① 30秒　　② 1分　　③2分　　④その他  [7] 使用培地　　　　　 ① 標準寒天培地　 ② 普通寒天培地　　③その他  [8] 培地の保持温度　　 ①　　　　　　　　　℃  [9] 培養温度・時間 ①　　　　　　　　　℃　②　　　　　　　　　 時間  [10] 集落数の計測 ① 目視による計測 ② コロニーカウンター（自動計測装置）による計測  ③ 1.5倍の拡大鏡下で計測  **細菌数検査結果算出法**  **A１回目**希釈倍率　10 の　　乗**A２回目**希釈倍率　10の 乗  集落数　　　　 平均値　　　　 集落数　　　　　　　　 平均値    細菌数 細菌数  **B１回目**希釈倍率　10 の　　乗**B２回目**希釈倍率　10の 乗  集落数　　　　 平均値　　　　 集落数　　　　　　　　 平均値    細菌数 細菌数 |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　施設No.

「大腸菌群検査方法」について記入して下さい。

|  |
| --- |
| 検査開始年月日：平成30年　　月　　日　検査終了年月日：　平成30年　　月　　日  [1]　試料採取量　　　　 ① 10g　　　② 25g　　③ その他　　　　　　ｇ  [2]　試料採取 　 ①ストマッキング袋　②滅菌紙　③その他  [3]　試料秤量方法　 　　 ①電子天秤　②自動希釈装置　③上皿天秤（左右釣合）④その他  [4] 試料溶液の調製　　 ①ストマッカー　②ブレンダー　③その他  [5] 乳剤作成時溶液・量 ① ペプトン加生理食塩水　②生理食塩水 ③リン酸緩衝食塩水  ④その他　 　　　　使用量　 　　　 ml  メーカー  [6] 推定試験　 　 　　 ①デソキシコレート寒天培地　②その他  メーカー  　　　　倍乳剤を　　②　　　　　ml　　③　　　　　枚  [8] 培養温度・時間　 　①　 　　　 ℃　②　　 　　　 時間  [9] 培養機器　　　　 　①ふ卵器 ②恒温槽  [10] 確定試験　 ① 使用した培地　 　　　 メーカー  [11] 培養温度・時間　　 ①　　　　　　　　　℃　②　　　　　　　　　時間  [12] 完全試験　　　　 ① 使用した培地　 　　　 　　　 メーカー  [13] 培養温度・時間 ①　 　　　 ℃　②　 　　　 時間  [14] 使用したキット等 ①キット名   1. メーカー   [15]陽性、陰性の判定をどの時点で行ったかどちらかに丸を付けて判定理由を記入してください  A陽性・陰性　　　理由    B 陽性・陰性　　　理由    [16]その他検査について |

施設No.

「セレウス菌検査方法」について記入して下さい。

|  |
| --- |
| 検査開始年月日：平成　30　年　　月　　日　検査終了年月日：　平成　30　年　　月　　日  [1]　試料採取量　① 10g　　　② 25g　　③ その他　　　　　ｇ  [2] 試料採取 　 ①ストマッキング袋　②滅菌紙　③その他  [3]　試料秤量方法　 　　 ①電子天秤　②自動希釈装置　③上皿天秤（左右釣合）④その他  [4] 試料溶液の調製　　 ①ストマッカー　②ブレンダー　③その他  [5] 乳剤作成時溶液・量 ① ペプトン加生理食塩水　②生理食塩水 ③リン酸緩衝食塩水  ④その他　　　　　　　　　使用量　 　　　 ml  メーカー  [6]　使用培地　　　　　　①MYP ②NGKG③その他  [7]　試料の希釈段階、培地への塗抹量  ①段階希釈（有　　無）②10の　　　　　乗まで希釈 　　　　　　　　　③　　　　　mlを　③　　　　　枚に塗抹  [8] 培養温度・時間　 　①　　　　　℃　②　　　　　時間  [9]　コロニー形状  ①　卵黄反応の有無　　　　　　　　②マンニット分解  ③　コロニーの外観：色　　　　　　　④その他  [10] グラム染色・鏡検  ①実施した　　　　　　　②実施せず  [11] 生化学性状検査等追加検査  ①カタラーゼ　　　　②VP　　　③嫌気性寒天培地上の発育　　　④50℃の発育  ⑤グルコースからのガスと酸の産生⑥pH5.7の発育  ⑦その他  ⑧遺伝子検査  キット・試薬名（　　　　　　　　）メーカー（　　　　　　　　）  [12]陽性、陰性の判定をどの時点で行ったかどちらかに丸を付けて判定理由を記入してくださ  い  A陽性・陰性　　　　　理由    B 陽性・陰性　　　　　理由 |

施設No.

平成30年度『自由参加項目』成績記入用紙

リステリア・モノサイトゲネスの検査方法について使用培地、培養温度・時間、確認方法等につき記入して下さい。また、どの段階で検出・不検出の判定をしたか記入して下さい。

|  |
| --- |
|  |

施設No.